



人財の開発・育成 ～創造の源泉は人～

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく、「人財」であること、これまで人の持つ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。「創造の源泉は人」人財の開発・育成にこれまで以上に取り組んでまいります。

2015年度は、全社重点目標として、社員が育つ環境創りを掲げ、社内・社外の教育を通じて、人財育成に取り組みました。

社外研修の受講

研修会社が主催する外部研修に社員を派遣。営業・管理部門の部課長を中心に延べ28名が受講しました。

研修プログラム例：

リーダーシップ開発、動機形成スキル習得、指導力向上、説得力向上、モチベーションコントロール、ロジカルシンキング、洞察力向上など



ほめる達人という生き方セミナー

外部講師を招いて、「ほめる達人という生き方セミナー」を開催。社長以下、本社の管理職、工場長計33名が参加しました。

部下をほめて伸ばすことの難しさ、楽しさを実技を通じて学びました。

受講後は認定試験も受験し、全員3級に合格しました。



新入社員フォローアップ研修

新入社員12名に対しフォローアップ研修を実施しました。研修の内容は、働いて半年がたった時点で「仕事の進め方の基本」をおさらいし、半年経って出来たこと、出来なかったこと、今後の目標などグループワークを通して仲間や先輩と理解を深めました。



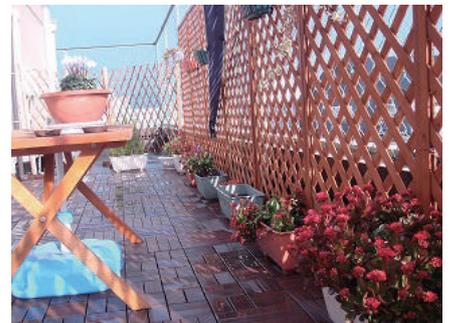
英会話教室の新設(本社)

多様化する国際社会に対応するために英会話教室を新設しました



改善提案制度

2015年度に提出された提案件数は、1,816件でした。現場の気付きと創意工夫が「ちょっとした違い」の源泉です。新しい「創造」を見つけ出すためにも継続して取り組んでいきます。



●大阪支店の屋上緑化の提案

通信教育講座

自己啓発の通信教育を8名が受講しました。なお、当社では、会社が指定した通信教育講座の修了が昇格要件のひとつとなっています。

健康経営

シーレックスの目的は『「存続」し続け、「人」＝「社員」を幸せにし、「100年企業」になること』です。

企業が成長し続けるためには「個人の成長」が欠かせません。

そして「個人の成長」は『個人の健康』無くしては有り得ないと考えます。シーレックスで働く社員一人一人の健康は社員自身にとっても、またその家族にとっても大切なものです。

それはまた会社にとっても大切な財産であり、何物にも代えがたい経営資源のひとつなのです。そこでシーレックスは社員の健康を会社経営の重要課題の一つと捉え、全社を挙げて『健康経営』に取り組んでいます。



●ウォーキングキャンペーンの様子



●脱メタバセミナーの実施



●歯科検診の実施

安全で安心な職場環境の実現（社員とともに）

従業員に対する最も基本的な責任として、安全で安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

基本的人権の尊重

あらゆる場面において個人の尊厳の確保に取り組むこと、人種・民族・国籍・宗教・性別・身体的特徴などを理由とした差別をいっさい行わないことを「シーレックス倫理綱領」に謳い、社内に周知および徹底をはかっております。特に、セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの防止を含めた基本的人権の尊重については、管理職研修の実施や専用の相談窓口を設置するなど、問題の解決や防止に努めています。



●法令遵守ブック

労働安全衛生の推進

労使による安全衛生委員会を定期開催し、安全教育や安全対策に取り組んでいます。特に、生産部門においては、「安全ヒヤリハット」や「危険作業のリスクアセスメント」を実施し、職場内の安全意識の向上による労働災害の撲滅を目指しています。

健康管理・健康増進

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期健康診断を実施しております。また、生活習慣に改善が必要な従業員に対し、産業医や管理栄養士による健康指導もおこなっております。健康志向が高まる中、特に喫煙はさまざまな疾病の発症原因となり、本人はもとより周りの人たちの健康にも悪影響を与えます。当社では、従業員の喫煙率を下げるため目標管理制度に禁煙加点を取り入れ、生活習慣の改善を進めています。

安否確認システムの操作訓練

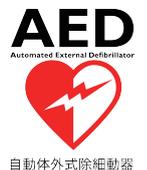
当社では災害時の安否確認を迅速に行うため、セコム製の安否確認システムを導入しております。システムになれるために操作訓練を実施しました。21時間後の応答率は92%を維持しております。



	労働災害件数	休業災害
2013年	3	0
2014年	6	0
2015年	3	0

AED（自動対外式除細動器）

助かる命を助けるために」をスローガンに定期的に普通救命講習会を開催しております。“いざ”という時に備え、2007年に導入したAED（自動対外式除細動器）の取り扱いについても出来るだけ多くの方が取り扱える講習を受けています。



災害時の危機管理(防災訓練)

地震などの自然災害や火災などに備え、定期的な避難訓練や消防訓練を実施しています。
東日本大震災を契機に、危機管理に対する考え方や基準を見直し、災害時の危機管理体制の充実をはかっております。



社会・地域社会貢献活動 (地域とともに)

私たちは、良き企業市民として、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会との共生を図っていくことが重要な活動と捉えています。地域に根ざした企業を目指し、各地の事業所でさまざまな社会貢献活動をおこなっております。

ボランティア活動

広島営業所では2007年から“ハイブローズ広島”という電動椅子サッカーチームの活動のお手伝いをしています。選手は、脳性マヒや脊椎損傷、筋ジストロフィーなどの重度の障がいを抱えていて、通常の車椅子の操作が出来ないため、全員電動タイプにのり、手だけでなくアゴや足の指先などで車椅子を操作します。

清掃活動

シーレックスでは、毎年、5月30日を「ゴミゼロ」と名づけて、全国一斉に清掃活動を継続しています。



本社

大阪支店・SLX大阪(株)

東北営業所・東北工場

献血活動

シーレックスでは毎年、献血活動に参加しています。



●兵庫工場で献血に参加する従業員



兵庫工場

名古屋営業所

京都営業所



福岡営業所

広島営業所

開発部・包装機械部

工場見学

シーレックスは、地元に着した企業を目指して、地域とのコミュニケーションを大切にしています。工場では、地域の皆様により親しんでいただけるよう高校生の工場見学など、積極的に取り組んでいます。



エコキャップ運動

飲み終わったペットボトルのキャップを回収し、その売却金で世界の子供たちにワクチンを届ける運動を継続しています。この運動は同時に、キャップを資源化することによるゴミの削減にもつながります。シーレックスは、『地球に愛を、子どもに愛を』エコキャップ運動に取り組んでいます。



使用済み切手/テレホンカードの回収

名古屋営業所では、使用済みの切手やプリペイドカードを集めています。これらをボランティア団体に送り、アジア・アフリカの植林活動や途上国の子どもたちの支援活動に役立ててもらっています。

